

千歳市議会議員

相沢あきこ市議会だより

相沢あきこ通信

2024/11/11発行

No.5

〒066-0028

千歳市花園3丁目9-11

電話 080-1895-7912

eメール ryoteniharu@gmail.com



皆さん元気にお過ごしでしょうか。

日頃感じる違和感を調査すると、実は大きな問題であった、という事が多々あります。

今後も、積極的に調査、活動していきます。

以下、3年間で実施した千歳市議会定例会での質問を抜粋しご紹介いたします。

①ラピダスについての質疑

千歳市美々地区において、令和7年春に試作ラインが稼働予定です。量産ライン稼働時の用水の取水は安平川で、排水は千歳川に流れます。昨年2月の誘致決定より、半導体工場の排水が及ぼす環境への影響（安平川から検出されたPFAS、及び鮭の遡上等）を心配し、8回の質問・質疑を行いました。

②情報提供に関する質疑

市の広報の内容が令和3年から大幅に変更になった事への質疑を行いました。「市長への手紙」の特集の復活を望みましたが、残念ながら叶いませんでした。

今年値上げの予定でした給食費を審議した、給食センター運営審議会での資料について、情報が不十分として質疑し、その後値上げは延期となりました。

③道の駅に関する質疑

昨年8月に道の駅サーモンパーク千歳の指定管理業者が変更となり、一部のテナントと協議が長引いた件について質疑しました。道の駅が完成した当初は、指定管理業者がテナントを呼び込む形でスタートし、指定管理業者が変更となっても、テナントの一部は引き続き入居が可能であったのが、昨年市から指定を受けた業者は、全てのテナントを撤退させ、自社の店舗を入居させました。道の駅完成当初には想定されていなかったであろうと思われる、全て自社で運営するという業者の進出の是非の判断は、慎重にすべきであったらうと、現在も思っています。



ちとせのパワフル主婦！ ~第2章へ~

相沢あきこのプロフィール

- ・1977年(昭和52年)札幌市生(47歳)
- ・2000年(平成12年)北海道大学工学部卒業
- ・2000年(平成12年)4月
～2004年(平成16年)3月 陸上自衛官
※退官後は10年間ほど専業主婦、
その後パート・アルバイト従業員
また、市の審議会等委員など歴任
- ・2021年5月 千歳市議会議員当選(18位)
＜市議会所属委員会＞
 - ・総務文教常任委員会
 - ・議会運営委員会 ・議会報編集委員会

※家族 夫(自衛官) 子供(一男一女)

※趣味は、知らない街並を歩くこと。と言っても、最近はおっぱらYoutubeを見ている。

相沢あきこ住所：花園3丁目9番11号

相沢あきこ 後援会

- ☆この会は「相沢あきこ後援会」と称します。
相沢あきこさんの政治活動・社会的・文化的活動を
支え、会員と共に住みよい「マチづくり」のため
に活動しています。
- ☆この会は、会の趣旨に賛同される方は、どなたで
も自由に入会できます。
- ☆この会の会員になっても難しい義務は一切ありま
せん。

相沢あきこ後援会事務所 代表 渡辺かずお
〒066-0028 千歳市花園7丁目2番18号 渡辺方
TEL (0123) 24-8386
[相沢携帯：080-1895-7912]

明るく・仲良く・楽しい・元気なまち！ 皆さんと一緒に“素晴らしい千歳”を 引き続き目指してまいります。

1 明るい地域づくりを！

日頃より、地域の見守りを行って頂いている皆さん、本当にありがとうございます。

登下校の見守りを実施して頂いている「見守り隊」の皆さん、そしていつも地域のご高齢の方に寄り添って頂いている「民生委員」の皆さん、そして町内会活動をして頂いている皆さんの活動を応援する仕組みづくりを市行政に働きかけていきます。地域の皆さんと共に、明るい地域づくりに励んでまいります。

2 信頼できる市行政を、 「広報ちとせ」から！

皆さんと、さまざまな課題を共有したいと思っています。市からの情報は、充分でしょうか？私は、3年間の市議会活動の中で、市の広報の内容が少しずつ変化している事が大変気がかりです。それは、以前に比べ皆さんの声が、市民全体で共有されにくくなっている状況ではないか、という事です。以前あった、「市長への手紙」の特集や毎月あった「声のラン」は、突然廃止となりました。市に寄せられる、皆さんが抱く懸念を、ぜひ再び広報に掲載してもらいたいと思い、今後も声を上げていきます。

3 「その施策、市民ファースト？」 …ぜひ、一緒に見ていきましょう！

市行政は市民生活のインフラ整備に、日々取り組んでいます。おいしい水、きれいな空気、整備された道路、そして安全な学校。それらを守ってくれる、市職員の皆さんには敬意を持っておりますが、昨今のラピダス関連のインフラの整備には、疑問を持っています。

140億円かかるラピダスのための下水処理施設は、国からの補助を72億円見込んではいらぬものの、残り68億円は市税で賄います。ラピダスの下水道使用料金で、ある程度は補填されますが、国策であるラピダスのインフラをなぜ千歳市が整備しなくてはならないのか、大いに疑問です。市は「法律に沿って」様々な施策を行っても、資金運営上の問題になったり、環境破壊が進んでしまったりする例は数多くあります。「市民ファースト」で諸課題に取り組んでもらえるよう、日々市行政に働きかけていきます。

